



林 声

2019

1 月号



NPO法人フォレストフォーピープルで活動されている小川奈緒実さんです。

間伐・枝打ちイベントのスタッフとしての活動に加え、自らチェーンソーで里山林の整備を行っておられる熱心で活動的な森ガールです。

「女性が山に入るきっかけになれば」と快くお話を聞かせてくださいました。（詳細はP 2に記載）

目 次

新年のごあいさつ		全国ブロックシンポジウム紹介	9
岡山県林業改良普及協会会長	2	森林研究所成果発表会のお知らせ	10
日本農林漁業振興会会長賞受賞（山下木材㈱）	3	イベント情報、技能講習等情報、林産物市況	11
おかやまの森ガール・木ガール		森林・林業施設の紹介	
NPO法人フォレストフォーピープル		（西粟倉村の木造建築施設）	14
小川 奈緒実さん	4		
ニューフェイスです！		【ぼっけ～木になる情報】	
新見市森林組合 仲田侑太郎さん	5	Q. 「森林認証制度」とは何ですか。	
林業普及指導区の情報（勝英普及指導区）	6	また、認証を取得すると	
担い手サポート市町村（真庭市）	7	どのようなメリットが	
担い手対策（林政課普及指導班）	8	ありますか。	



新年のごあいさつ

岡山県林業
改良普及協会 会長

井手 紘一郎



新年あけましておめでとうござ
います。

会員の皆様には、輝かしい新春
をお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

また、平素から当会の運営につ
きましては、皆様の格別のご支援
ご協力を賜り、厚くお礼申し上げ
ます。

さて、森林・林業をめぐる情勢
は、戦後植栽された人工林が本格
的な利用期を迎え、豊富な森林資
源の循環利用に向けて、新たな木
材需要の創出や安定的・効率的な
国産材の供給体制の構築等により、
林業の成長産業化の実現と森林資
源の適切な管理を両立させること
が喫緊の課題となっています。

このような中、国では、昨年5
月に森林経営管理法が成立し、市
町村ではこの法律による「新たな
森林管理システム」の構築が進め
られているところです。また、こ
のシステムの財源等として、平成
36年度から課税される森林環境税
(仮称)及び31年度から譲与され
る森林環境譲与税(仮称)の創設
が予定されており、森林のあり方
や林業の役割等、その重要性が一
層注目されているところです。

県では、この新たな森林管理シ
ステムの推進に向けて、市町村と
の検討会の開催や、市町村等への
支援策の検討がなされています。

また、本年3月をもって課税期
間が満了する「おかやま森づくり
県民税」については、森林の保全
に関する施策の一層の推進を図る
必要があることから、当該施策に
要する経費の財源を確保するため
平成30年11月県議会定例会におい
て「森林の保全に係る県民税の特
例に関する条例の一部を改正する
条例」が可決・成立され、課税期
間の5年間延長が決まりました。

こうした中、国・県・市町村の
施策が円滑に実施され、実りある
成果をもたらすためには、人や地
域をつなぐネットワークづくりや

情報の共有が重要となっています。

当林業改良普及協会といたしま
しても、森林・林業の大切さや木
材の良さをより広く、県民の皆
様にPRするとともに、林研グル
ープ交換研修大会や専門部会の開
催、県外研修への派遣、あるいは
「林声」の発行による会員相互の
情報共有を通して、地域のネット
ワークづくりに貢献するとともに、
森林・林業情報の周知に努め、森
林・林業が益々活気づくよう取り
組む所存であります。

最後に、会員の皆様の一層のご
支援、ご協力をお願いいたします
とともに、それぞれの分野で益々
のご活躍、ご発展をお祈り申し上
げ、新年のごあいさつとさせてい
たいただきます。

11月県議会で可決・成立した
森づくり県民税の
一部改正条例の内容

- 1 課税方式 → 現行と同じ
県民税均等割の超過課税
- 2 税率 → 現行と同じ
個人 500円/年
法人 均等割額の5%相当額
- 3 課税期間 → 5年間
H31(2019)～H35(2023)

共販日(特別市)のご案内

岡山県森林組合連合会



本年もお引き立ての程、宜しく願い申し上げます。
皆様方からの多くの出荷をお待ちしております。



【津山木材共販所】

2/9 (木) 9時30分～

【新見木材共販所】

2/17 (金) 9時30分～

【勝山木材共販所】

2/23 (木) 9時30分～



山下木材株式会社 日本農林漁業振興会会長賞を受賞されました！

11月23日、明治神宮会館（東京都）で「農林水産祭式典」が開催され、真庭市で製材業を営んでいる山下木材株式会社が林産部門で全国第三位となる日本農林漁業振興会会長賞を受賞されました。

農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施されています。

今年度（第57回）は、農林水産祭参加表彰行事において、農林水産大臣賞を受賞した512点の中から、農産・蚕糸、園芸、畜産、林産、水産、多角化経営、むらづくりの7部門の優秀者に天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞が授与されました。

山下木材(株)は、注文材専門工場 の伝統を活かしながら、顧客の多様で厳しいニーズに応える優れた製材技術を有し、無垢材を中心に多品目・高品質材を生産する製材業者として、学校・公益住宅などの公共建物をはじめ、文化財修復

から民間住宅工事に至るまで、県内外の建設業者に地域（美作）材を納入しています。

また、独自の乾燥装置の開発・改良や乾燥スケジュールの確立を図るとともに、工場内に設けた養生スペースで一定期間含水率の均一化を図った上で、含水率の測定や強度試験を行うといった徹底した品質管理を行い、高品質な木材を生産しており、これらの努力により消費者の評価は高く、他社製品より高価格での販売を実現しています。

そして、日本農林規格（JAS）の認証や緑の循環認証会議（SGEC）のCOCC認証を取得するなど、製品並びに事業者としての信頼確保に妥協がありません。

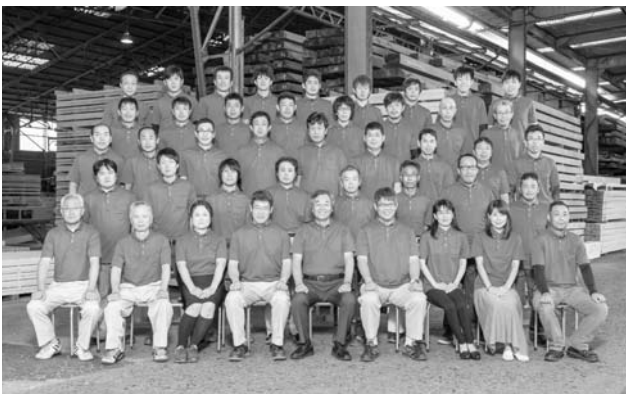
さらに、20社を超える製材工場が操業する真庭市にあって、地域林業の活性化や同業他社との共存共栄をポリシーにしており、地域ブランド「美作KD（人工乾燥材）」の確立に貢献するとともに、プレカット工場の操業により他社の製材品の加工にも応じ、地域全

体での高付加価値化を図っています。

真庭市では、地域で積極的に木質バイオマス利活用を図る仕組みを構築しており、山下木材(株)は、地域が協力して開催する「バイオマスツアー」においても製材工場を代表して見学者を受け入れ、地域のバイオマス産業発展の一翼を担うなど、地域林業の活性化に貢献されています。

地域と共存共栄し、高品質、高付加価値材を生産する山下木材(株)の今後益々のご活躍を期待しています。

（林政課林業木材班）



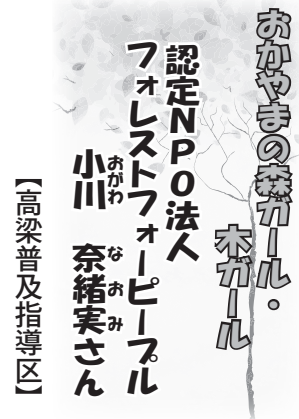
山下木材(株)の皆さま



山下豊社長と澄子夫人



賞状を受け取る山下豊社長



NPO法人フォレストフォーピープル岡山（FFP岡山）は、「健全な人づくり、里山文化の継承、自然環境保全を推進し、持続的に発展する社会の実現を図ること」を目的に、森林保全活動、青少年を対象とした環境教育、CSR活動の支援などを行っている団体です。

このたび、熱心な会員の一人である小川奈緒実さんにお話を伺いました。

一 山に入るきっかけ

家に山があり、幼い時から山の手入れをしている父の姿を見て育ちました。本当は一緒に連れて行ってもらいたかったのですが、「危ない。女の子のすることじゃない。」と言われて、山に連れていってもらえませんでした。

それでも、いつか自分も山の管理をしたいという想いが、ずっと胸にありました。



伐採作業中の小川さん

でも、どのようにしたら良いのか分からず、とりあえず多くの知識を得たいと思い、色々な団体に連絡をとり、活動に参加するようになりしました。この頃から、自分でチェーンソーを持って、里山林の間伐や竹林整備活動を行うようになりました。

二 FFP岡山との出会いと活動

FFP岡山も当時、連絡を取った団体の一つです。最初は下刈り作業に参加をさせていただきましたが、次からはスタッフとして活動に誘われました。

FFP岡山での活動は、主にイベントの補助者として子供達の間伐・枝打ち作業体験のお手伝いをしていきます。「ケガをしないように・楽しんでもらえるように」と心がけています。子供が山に入っ

て、その魅力を知ってもらえるのは、本当に素晴らしいことです。保護者の世代は、山に興味がない人も多いので、自分たちがどんどん山の魅力を発信していきたいです。



FFP 岡山中活動中の小川さん

三 今後の目標

今後は、ボランティアとしてではなく、きちんと収入が得られるような活動を探しながら、自分で活動グループを作れたらいいな、と思っています。

チェーンソーを使える方、使えなくても興味のある方、竹を切ったり、竹炭を作ったりする作業をしてみたい方など私と一緒にこれから活動しませんか？

四 里山に対する思い

私は「山が荒れると水が汚れ、

田畑の土も汚れる。やがて流末の海も汚れる。」と考えています。自分の家には山も畑もあるので、山がきちんと整備されていると水や土が良くなり、そこで収穫された作物がより美味しくなると思っています。私は、全ての大本である山を、自分の手できれいにしたいんです。

山は五感を全部使って楽しめる場所です。確かに危険もありますが、どこが危ないかを正しく知って気を付けたら、決して危ない場所ではありません。最近のチェーンソーは改良が進み、女性でも簡単に使えますので、女性ももっともっと山に入ってほしいと大きな声で言いたいです。

五 おわりに

小川さんを紹介してくださった同会の小見山節夫さんも「とても熱心な方で、これからの活動の将来を担っていく方」と強い期待をされています。

当普及指導区としても、小川さんを始めとしてFFP岡山の今後の御活躍を期待し、山村と都市との交流促進を推進していきたいと考えています。

(FFP岡山 ホームページ)

<http://www.ffp-okayama.org/>

(高梁普及指導区 渡邊 亜矢子)



新見市森林組合

仲田 侑太郎さん (23歳)

今回は、新見市森林組合の仲田 侑太郎さんをご紹介します。仲田さんは平成30年4月から事務職員として勤務されています。



事務室での仲田さん

一 経歴

仲田さんは、新見市新見の出身で高校まで地元で育ち、大阪府の大学の国際コミュニケーション学科で国際交流を専攻されていたそうです。なぜ森林組合に就職したのかをお聞きしたところ「海外の人との交流の中で地元新見の良さ

を再認識し、大学を卒業したら新見に帰り自然を相手にした仕事に就きたいと思うようになった。そんな折、林業関係の仕事をしていて叔父が森林組合の就職を勧めてくれたのがきっかけで、小さい頃から慣れ親しんだ新見のきれいな自然と林業を守り、地域を盛り上げたいとの思いで就職を決めました。」と話されました。

二 特技

仲田さんは、大学時代にはフリースタイルフットボール(自由なスタイルでサッカーボールをリフティングする)の西日本チャンピオンになるなどすばらしい経歴の持ち主です。

三 仕事の内容

仲田さんは、現在、林産事業の現場管理、測量、図面作成、立木調査、購買品の管理などを幅広く担当し、主に作業道や間伐の出来高測量、デジタルコンパスやGPS等の機械を使っておられます。現在の仕事について感想をお聞きしたところ、「山の知識がほとんどなく、道具や機械の名前や使い方を覚えるのが大変でした。山の仕事は、急傾斜地での立木伐採、重機による集材、搬出など一歩間

違えば大怪我につながる危険な仕事が多く、特に山での転倒、滑落等の労働災害が多いと聞き、体力には自信がありますが過信せず、細心の注意を払いながら仕事に取り組んでいきたいと思っています。最近では林産の現場を任せられる事が多く、現場の職員の方々と話す機会が多くなりました。現場作業では厳しい人が多いですが、現場から離れると仕事のことを詳しく教えてもらっています。」と話されました。



デジタルコンパスで間伐作業道の測量中

四 今後について

「まだ、一年も経っていませんが、事務や現場の方々から多くの知識・技術を教えてもらい、刺激的でやりがいを感じています。今は、林業関係の仕事には、若い人が少ないですが、私たち若い力

で盛り上げていき、若者がどんどん入ってくるような職場にしたいと思っています。そのためにも早く現場を覚え、事務や現場作業をこなせる一人前の職員になりたい。」と話されました。



測量データをGPSに取り込んでいる

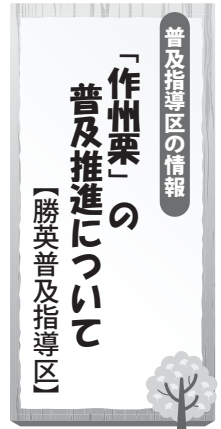
五 職場の先輩(山田参事)から

一言 「日々の森林組合業務において、地域林業の発展と組合員の事を第一に考え、組合員に寄り添える職員になってくれれば。」と話されました。

六 終わりに

仕事では大変な事もあります。が、若い力で新見の自然と林業を守って行ってください。仲田さんの今後益々のご活躍を期待し、当普及指導区としても、支援していきたいと思えます。

(新見普及指導区 神本 英夫)



作州栗は平成22年から勝英地域を中心に栽培が進められ、需要の創出を図るため、「作州栗推進協議会」を設置し、品質の向上対策や商品開発の検討、ブランディングの推進などの取組が行われていますので、その活動についてご紹介します。

一 「作州栗」の経緯

作州栗は、以前は岡山甘栗と呼ばれており、岡山県農林水産総合センター森林研究所が昭和57年に中国から種子を入手し、その中から優良な品種を選抜した栗で、平成20年に「岡山1〜3号」として品種登録されました。

平成22年から勝英地域を中心に耕作放棄地等で栽培が進められ、同じ勝英地域の特産品である黒豆産品を目指して、平成26年に勝英農業協同組合により「作州栗」として商標登録されました。

「作州栗」の販路形成や商品開発について取り組み、需要の創出

を図るため、勝英農業協同組合が事務局となり、県、市町村で構成する「作州栗推進協議会」を平成26年度に設置し、作州栗のブランディングを推進しています。



栽培講習会の開催状況

二 「作州栗」の特徴

- ①従来の日本栗品種に比べて実の渋皮離れが良い。
- ②従来の日本栗品種よりも甘い。
- ③従来の日本栗品種は高齢（20年以上）になると著しく収量が落ち込むが、当該品種は、高齢でも安定した収量が期待できる。
- ④管理にあまり手がかからない。
- ⑤クリタマバチに強い。

三 活動内容

協議会では、平成27年度から品

質向上の対策として、生産者に病虫害の防除や冬の剪定等の管理について講習会を開催したり、商品開発の検討として、保存方法や焼き栗加工、菓子等への加工、ブランディングの推進などに取り組んでいます。

作州栗の生産量は昨年、約1トでしたが、今年は約2トの収穫があり、今後、生産量の増加が見込まれる中、生産者には更に品質向上の取り組みを求め、普及PRにより知名度を上げ、商品価値の向上と流通ルートの確保を図る必要があります。



イベントPR活動

このようなことから、今年度は生産者向けの栽培こよみの作成・配付や栽培講習会の開催、集出荷

体制の厳格化など品質向上対策を図るとともに、PR活動として各種イベント等に参加し、焼き栗によるPR、専門機関による栗成分分析を行い、その結果を活用し、リーフレットの作成などに取り組むこととしています。

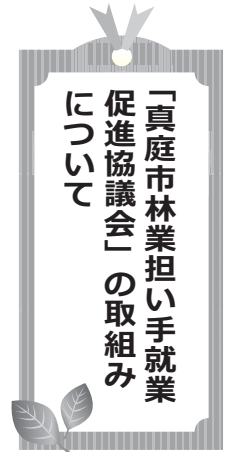


焼き栗の実演販売

四 終わりに

勝英普及指導区では、今後も森林研究所や関係機関と連携して、適期の手入れや収穫した栗は早く出荷してもらうよう生産者に周知するなど品質向上を図るとともに、甘く、渋皮離れがよいといった作州栗の特徴をPRし、地域特産品となるよう取組を支援したいと思います。

（勝英普及指導区 福見照芳）



一 はじめに

真庭市は岡山県の北中部に位置し、総面積82,800畝の約8割を森林が占めており、人工林率は約60%です。主な植栽樹種であるヒノキは、住宅の柱材等に用いられ、美しい光沢と特有の芳香が好まれてきました。市内には20社を超える素材生産事業者がいますが、伐期を迎えた森林も増加するなど、今後の森林整備を行う上でも林業の担い手確保や育成が課題となっております。

そのため、林業の担い手に関連する現状や課題を共有し、林業・木材関係者、関係行政機関などが一体となって担い手確保の取組を効果的に推進することを目的とし、平成29年10月に「真庭市林業担い手就業促進協議会」を設立しました。

二 これまでの取組

【協議会開催】

協議会は、市内の森林組合な

どの林業事業者や素材生産組合、県・市の職員が参画し、担い手確保や育成に向けて協議を行い、相談会などへ参加しています。

【パンフレット等の作成】



「林業のスメ」で地域林業・事業者を紹介

最初の取組として、相談会などで提供できる資料として真庭の森林・林業の特徴と認定林業事業者を分かりやすく紹介するパンフレットの作成を行いました。取材では、10社の認定林業事業者の作業現場などに訪問させていただき、林業に対する思いや考えなどについてお伺いすることができました。

【事業者の基盤強化を支援】

雇用側の体制づくり強化の取組として、認定取得を目指す事業者に対し、必要に応じて協議会から支援員を派遣しています。この取組みは、雇用先を増やすことと合わせて、地域における素材生産量の増加や事業者の基盤強化を図ることも目的としています。帳簿や提出書類の整理・作成など事業者の事務を支援。平成29年度は新たに1社が認定取得をしています。

【移住・定住相談会への出展】



移住相談会（大阪開催）の様子

岡山県などが主催する移住・定住の相談会に事業者からも参加いただき、東京や大阪、岡山市に出



希望者の要望に沿う林業現場を案内

展しました。相談件数はまだ少ないですが、林業に興味を持ってもらえる貴重な機会と感じており、後日、連絡をくださり林業現場に足を運ばれた参加者もいます。

三 おわりに

都市部や岡山県南部からの就業は移住を伴うため、短期間では結果が出にくいこともあります。今後も協議会を中心に市役所各課と連携し、継続して林業就業の窓口だけでなく、林業の魅力発信や市内の担い手確保に向けた取組みも行いたいと考えています。

（真庭市産業観光部

林業・バイオマス産業課

課長 實原 将治

高校生が企業や団体で 就業体験！



岡山県では、豊かで充実した森林資源を将来の世代に渡り引き継いでいくため、「おかやま森づくり県民税」を活用し、優れた林業の担い手の確保・育成に取り組んでいます。

この取組は、次の3つの分野で構成され、就業前の相談から就業後の技術者の育成・定着までを支援しています。

①新規就業者確保・育成

林業への就業促進を図るため、林業の魅力に触れる一日林業体験県と市町村が連携した林業就業ガイダンス、高校生等を対象とした現地研修等を行っています。

②地域林業を支える技術者育成

高度な知識や能力を備えた林業技術者の育成を図るため、職場内研修・技術習得・安全装備品導入の支援や作業道作設技術者・現場指導者の育成研修を行っています。

③林業就労改善支援

林業就業者の労働災害低減を図るため、安全衛生指導員による作業現場の巡回指導や実技研修会等を行っています。

これ以外にも、岡山県森林組合連合会が実施する国の「緑の雇用」事業において、3年間の研修等を通して新規就業者を「林業作業士」に育成する取組があります。

今回は、今年度からスタートした行政機関・教育機関・民間企業の3者の連携による人材確保の取組「林業現場体験インターンシップ実施支援事業」について紹介します。この事業は、県が実際の林業現場を体験できる林業事業体等を公募し、県下の林業関係学科を持つ高等学校に情報提供して日程等の調整を行い、高校生の就業体験の機会を創出するものです。

希望した高校生は、受入先の林業事業体等で3日間の就業体験を通して、林業の魅力や厳しさに触れ、実際に働く時のイメージを持つことができます。

この経験を通して、高校生の就職活動の職業選択肢に林業が加わることや、職務経験の無い高校生が就職後に「思っていたものと違った」というミスマッチの解消に繋がることを期待しています。

今年度は、3つの高等学校の参加を次の5つの林業事業体等が受け入れ、高校生の就業体験が行われました。

①有限会社杉産業（新見市）

- ・参加 新見高校2年生2人
- ・期間 8月21～23日
- ・内容 高性能林業機械操作、伐倒作業 他



現場の雰囲気は授業や研修では味わえません

②真庭森林組合（真庭市）

- ・参加 真庭高校2年生1人
- ・期間 6月18～22日



伐倒作業は教える側も力が入ります

- ・内容 高性能林業機械操作、伐倒・集材作業 他

③銘建工業株式会社（真庭市）

- ・参加 真庭高校2年生1人
- ・期間 6月18～22日
- ・内容 製品仕分け・検品 他

④山下木材株式会社（真庭市）

- ・参加 真庭高校2年生1人
- ・期間 6月18～22日
- ・内容 製品仕分け 他

⑤株式会社板坂林業（美作市）

- ・参加 勝間田高校2年生1人
- ・期間 8月6～8日
- ・内容 高性能林業機械操作、ドローン操作 他

就業体験を終えた高校生からは、受入先で働いている人の楽しそうな雰囲気や対応の素晴らしさについて感想が寄せられています。また、今後の進路選択として、就業体験先への就職を希望したいとの声もあり、受入先にとっても新たな人材確保に繋がる取組となりました。

林業のサイクルを循環させ、森林を適正に管理していくためには、林業の担い手の確保・育成は必要不可欠であり、今後とも、林業への就業促進に向けた活動や優れた技術者の育成、労働環境の改善に向けた取組を支援してまいります。

（林政課普及指導班）

平成30年度林業普及指導員 全国シンポジウムの開催について

一 はじめに

平成30年11月29日（木）、農林水産省（東京都千代田区）において、林野庁の主催により全国の林業普及指導員等109名が参加して、林業普及指導員全国シンポジウムが開催されたので、その概要を報告します。

二 目的

このシンポジウムは、全国6箇所で開催されたブロックシンポジウムで最優秀賞に選ばれた代表が活動事例を発表し、その成果を全国に普及していくものです。

三 発表内容

（一）北海道・東北ブロック代表

北海道「人工林伐採跡地解消に向けた森林所有者に対する森林施業の推進」

（二）関東・山梨ブロック代表

千葉県「都市部における森林整備推進に向けた関係部局との連携強化の取組」

（三）中部・北陸ブロック代表

新潟県「素材生産拡大の取組について」

（四）近畿ブロック代表

和歌山県「異業種連携による素

材生産・流通の改革に向けた取組」

（五）中国・四国ブロック代表

広島県「再造林対策としてのコウヨウザン造林の取組」

（六）九州ブロック代表

鹿児島県「始良・伊佐地域木材生産推進プランの実行監理」



最優秀賞を受賞した千葉県の発表

四 審査結果

審査の結果、関東・山梨ブロック代表の千葉県の取組事例が最優秀賞を受賞しました。地域に林業はないとの認識から、木材利用に取り組むメリットはないと考えている都市部の市町に対して、木材利用は各市町が力を入れて子育て施策にも生かせるという視点からアプローチし、森林環境譲与税（仮称）を活用した適切な事業実施に向けた体制整備に努めていることが高く評価されました。

（普及推進課 林業普及推進班）

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST
INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 21,225円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 37,375円（5年間計）

1ヶ月あたり
約350円

わずかおむすび
3個分



1ヶ月あたり
約620円

わずかラーメン
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

…平成30年度 森林研究所研究成果発表会の開催…



昨年の研究発表会の状況

岡山県農
林水産総合
センター森
林研究所で
は、これまで
取り組ん
できた研究
成果を関係
業界や一般
県民の皆様
に分かりやすく紹介し、理解と関
心を深めてもらうため、次のおと
り研究成果発表会を開催します。
なお、会場の真庭市立中央図書
館は、昨年7月にオープンした施
設で、地元真庭産のヒノキがふん
だんに使用されています。

一 開催日時

平成31年2月15日(金)
13時30分から16時

二 場所

真庭市勝山53-1
真庭市立中央図書館
映像シアター

三 内容

●研究成果発表

(木材加工研究室)

①ヒノキ3番玉を活用したCL
Tラミナの強度特性
道場専門研究員

②リンドウの連作障害を回避す
る木質栽培床の開発
金田特別研究員

●(林業研究室)

③農薬を使用しないナラ枯れ対
策の検討
三枝専門研究員

④山地植栽後のヒノキコンテナ
苗生育状況について
西山特別研究員

●ポスター発表

森林研究所で実施している試験
研究課題についてパネル等を使っ
てわかりやすく研究員が解説しま
す。

参加を希望される方は、平成31
年2月8日までに森林研究所まで
電話、FAX、メールにてご連絡
願います。

なお、申込の際には住所・氏
名・電話番号をお知らせください。

【申込先】

〒709-4335
勝田郡勝央町植月中1001
農林水産総合センター森林研究所
電話 0868-38-3151
FAX 0868-38-3152
メール ringyo@pref.okayama.lg.jp

課題名・要旨	
①「ヒノキ3番玉を活用したCLTラミナの強度特性」	(木材加工研究室 専門研究員 道場 隆)
単県課題で研究している「ヒノキ3番玉を活用したCLTラミナの強度特性」について経過及び今後の展開について報告する。また、森林総合研究所(国研究機関)での研修を受講したため、その研修内容と国の研究動向をあわせて報告する。	
②「リンドウの連作障害を回避する木質栽培床の開発」	(木材加工研究室 特別研究員 金田 利之)
本県の特産であるリンドウの連作による生育障害を回避し、同一圃場での栽培を可能にするために、その有効活用が課題であった製材業者等から発生する樹皮等木質バイオマスを利用して開発した木質栽培床について報告する。	
③「農薬を使用しないナラ枯れ対策の検討」	(林業研究室 専門研究員 三枝 道生)
ナラ枯れは県内で広まりつつあり、景勝地や名木等への被害が懸念されているが、一部地域では防除に使う農薬の使用が制限されている。カシナガトラップは農薬を使わず、枯死を抑制しながらナラ枯れに強い森へ転換する方法であることから、その施工方法および防除効果について報告する。	
④「山地植栽後のヒノキコンテナ苗生育状況について」	(林業研究室 特別研究員 西山 嘉寛)
ヒノキコンテナ苗について、岡山県北部の国有林及び市有林にそれぞれ植栽された事例について生育状況を追跡調査するとともに、他機関の報告事例も加え、普通苗(裸苗)との比較検討を行った。さらに、周辺の雑草木の関係から、今後の保育管理方法について提案する。	

森林・林業関係イベント参加募集

開催日時	場 所	行事名称・内容	問合せ・申込先等
31.1.12(土) 9:00~12:30	岡山市中区祇園 龍ノロググリーンシャワーの森	おかやま共生の森・保育のつどい 樹木の整枝剪定、自然体験活動	「龍ノロググリーンシャワーの森」を守る会 TEL (086) 275-5073
31.2.2(土) 9:20~15:00	美咲町書副 おかやま共生の森・柵原	おかやま共生の森・保育のつどい 広葉樹整備、キノコ植菌	久米郡森林組合 TEL (0868) 66-0053
H31.2.3(日) 9:30~14:30	高梁美しい森 (高梁市松山)	マツ林整備 1 参加費：無料 2 募集人数：30人 ※小学生以下は、保護者同伴 3 服装は、帽子、長袖、長ズボン、長靴を着用。収穫袋、飲料水等を持参 4 詳細は事務局へお問い合わせください。	NPO法人 フォレストフォーピープル岡山 〒716-0038 高梁市浜町1285-1 TEL (0866) 22-1000

技能講習会の開催(1月~3月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	1月24,25日、3月24,25日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL (086) 225-3571
	津山	2月27,28日	
玉掛け	岡山	2月7,8日、3月7,8日	
	津山	2月19,20日	
伐木(特別教育)	津山	3月6,7日	
刈払(安全衛生教育)	津山	2月18日	
はい作業主任者	倉敷	2月6,7日	陸上貨物運送業労働災害防止協会 岡山支部 TEL (086) 234-1332

林 産 物 市 況

●木 材 (11月27日)

・出荷量 約1,800m³

単位：千円/m³



樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概 況
杉	3m	14~16	11	—	杉概況 前回同様3m構造材は頭打ちとなったが、他は横這い。 4mは全般的に品薄状態が続いており、並材から良材まで買い気あり。
		18~20	11.5	—	
		22~28	11.5	—	
	4m	18~22	10	—	
		24~28	10	—	
		6m	16~18	13	
桧	3m	14~16	21	15.5	桧概況 3m構造材の品薄状態は解消され弱気となったが、他は横這いで模様眺め状態。良材については買い気良好。
		18~20	19	15.5	
		22cm上	18	17	
	4m	14~18	20.5	18	
		20~22	18	17.5	
		24~28	18	17.5	
		30cm上	18	17.5	
	6m	16	—	—	
		18~20	31	20	
		松	3m	18~22	
4m	18~22		12	8	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

●乾しいたけ (11月30日)

・出品数量 1.7t ・価格高値 4,890円

・総平均 3,122円


価格：円/kg



品 柄	価 格		相場	概 況
	平均	高値		
香 信 大	3,811	3,960	○	(相場) 強：◎ 保合：○ 弱保合：□ 弱：△
香 信 中	3,158	4,890	◎	
香 信 小	1,698	3,210	□	
小 間	—	—	—	品柄については、今回も香信・バレ系が多く、全体の64%を占めた。
香信山成	3,462	3,880	○	
バ レ 大	3,465	3,970	○	価格については、高値で取引された昨年度と比べて全国的に下がり傾向で推移している現状から、平均単価は3,122円となった。
バ レ 中	2,891	3,810	○	
スライス	3,237	3,880	◎	
花どんこ	—	—	—	
上どんこ	—	—	—	そのような中でも、香信中葉とどんこ、こうこについては4,000円台で取引される物もあり、特にどんこは供給量に対して需要が上回っている影響から、高値で取引された。
並どんこ	3,710	4,180	◎	
並並どんこ	3,131	3,800	○	
小玉どんこ	1,270	1,270	△	
山成どんこ	2,458	2,670	□	
こうこ	3,574	4,000	◎	
格 外	1,116	1,500		

資料：岡山県森林組合連合会椎茸共販所

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕 	森樹郎マット 〔切土土砂用〕 	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕 	張りウッド 〔盛土用〕 	ハリシバモック 〔盛土用〕 

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎（シンキロウ）マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社
http://www.nihon-shokusei.co.jp/
津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
〔樹皮食い防止に〕 バークガード 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット
〔クズ専用除草剤〕 サイトロン・サイトロンフレノック・ケイピンエース
〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤
(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社 大同商事(株)大阪営業所
TEL：086-292-5525 TEL：06-6231-2819

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳 46-104
TEL 岡山 (086) 805-7033(代)

緑あふれる環境づくり

 株式会社 **山 都 屋**

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所 津山営業所 水島営業所



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 **岡山県森林協会**

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

ほっけー木になる情報

たところ、現在、約8万haの森林がFM認証を取得しています。

A. 森林認証制度は、適正に管理

された認証森林から生産される木材等を、生産・流通・加工工程でラベルを付すなどして分別・表示管理し、それらを消費者が選択して購入することにより、持続的な森林経営を支援する仕組みです。

【森林認証の種類】

一定の基準をクリアした林業経営や森林管理に与えられる認証 (FM (Forest Management : 森林管理) 認証) と、各流通の過程で非認証製品が誤って混入することを防ぐために、認証製品を取り扱う加工業者や流通業者が取得する認証 (COC (Chain of Custody : 管理の連鎖) 認証) の二つの認証から構成されています。

【岡山県の取組】

平成28年3月、県(県営林)を中心とするグループ(岡山県森林認証・認証材普及促進協議会)を立ち上げ、FM認証の取得に努め

【メリット】

森林認証取得によって、次のようなメリットが考えられます。

○森林所有者

- ・国際性を有する基準に基づいた適切な森林管理であることが認証されます。

- ・環境配慮だけでなく、合法木材であることやトレーサビリティの証明として利用できます。

○事業者

- ・商品にロゴマークを表示できます。

- ・消費者の環境への関心の高まりや木材のトレーサビリティへの需要に応えることができます。

- ・認証製品として、より広い輸出市場への参入機会が得られます。
- ・企業のイメージの向上につながります。

○消費者

- ・認証製品を選択して購入することで環境保全等に貢献できます。
- ・信頼性のある木材を適正価格で購入できます。

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています

事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報等、身近な話題の投稿をお持ちしております。

また、新規会員も継続して募集しております。

【問い合わせ・送付先】

〒700-8570

岡山市北区内山下2-4-6

岡山県庁林政課内 または

〒717-0013

真庭市勝山1884-2

森林研究所 木材加工研究室内

【編集後記】

●徐々に広く知られるようになってきたジビエ。今年は特にイノシシを食べ、理想に向かって真っ直ぐに進んで……いきたいです。

(O)

◆今年新たな森林管理システムや森林環境譲与税の導入と新しい制度がスタートします。

新しい時代に向かって猪突猛進頑張りましょう。

(S)

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

安心と信頼の証を届けます

ISO 9001
JQA-QM6203

JAB
US Accreditation
R009

創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場

大久保体育株式会社

OHKUBO

本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0460
倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153
東京営業所 〒201-0003 東京都江和島本町1-21-1(201) TEL (03) 5761-9577 FAX (03) 5761-9587

林声

森林・林業施設の紹介

「西粟倉村の木造建築施設」

西粟倉村の森林率は93%で、そのうち84%が人工林で構成されています。その特徴を活かし、森林の多面的機能の維持増進と持続的な経済循環が可能になるよう、「上質な田舎づくり」を目指した森林管理が行われており、その一環として、村産材等による木造公共施設の整備が進められていますのでご紹介します。

- ① 「つどい・暮らしの拠点施設」
(図書館・ホール・役場)
- ② 道の駅「あわくらんど」のトイレ
- ③ 西粟倉子供の森保育園

「つどい・暮らしの拠点施設」については、平成30年12月に着工し、図書館部分は、平成31年11月末に完成予定であり、平成33年3月の施設完成に向けて整備が進められております。また、道の駅「あわくらんど」のトイレと村役場に隣接している西粟倉子供の森保育園は平成30年春に完成しておりますので、お近くにお越しの際は、是非ご覧下さい。

(勝英普及指導区)

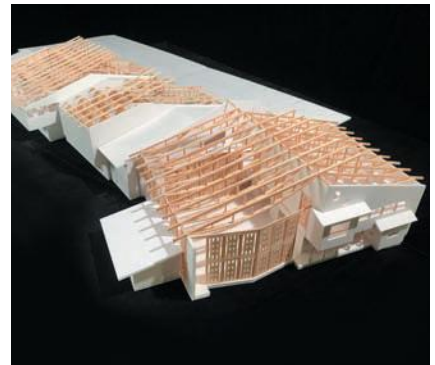
平成三十一年一月一日(第四六十三号)
(隔月一日発行)



③西粟倉 子どもの森 保育園
※村産材使用



②道の駅「あわくらんど」のトイレ
(CLTパネル工法)



①つどい・暮らしの拠点
(完成予想模型) ※村産材使用予定

編集
発行

〒700-8750 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区内山下二一四一六



「緑の募金」ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



CT-500C

・GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

http://www.mitsuyoshi.com/



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。(間伐材10%+古紙70%)

R70